

令和 6 年 1 月 16 日

報道機関 各位

富山大学 芸術文化学部 特別プログラム
リンカーズから学ぶ芸術経営学Ⅱ

本プロジェクトは、富山大学芸術文化学部が主催するアートマネジメント人材育成プログラム「ハッカーズから学ぶ芸術経営学」の一環として実施するもので、文化芸術と社会を繋げる役割を担う『つなぎ手(Linker)』に焦点を当てます。既存の制度に問題意識を持ち、打破すべく実行している彼ら(=リンカーズ)の独自の実践と方法論を学び、これからのアートマネジメント(芸術経営学)のあり方について考えます。

今回のリンカーは、美術館の機能や制度そのものを問うような批評的かつユニークな展覧会を企画する公立美術館学芸員の藤井素彦氏。本プログラムでは、同氏の考えや独自のキュレーション手法を参照しながら、美術館をとりまく状況や課題を抽出し、これからのアートマネジメントのあり方について考えます。

つきましては本イベントに関して、取材・報道方宜しくお願い申し上げます。

記

講座 1: 座談会「未指定文化財の行方Ⅱ」(定員: 20 名)

日時 | 令和 6 年 1 月 16 日(火) 14:00—15:30

場所 | 富山大学高岡キャンパス E-150 演習室(予定)

(〒933-8588 富山県高岡市二上町 180 番地)

参加費 | 無料(特設サイトより要事前予約)

登壇者 | 藤井 素彦 氏

西島 治樹(富山大学学術研究部芸術文化学系教授)

佐藤 弘隆(富山大学学術研究部芸術文化学系助教)

芦田麻都佳(富山大学芸術文化学部非常勤講師)

富山県砺波市に位置する旧庄川民芸館は、令和 5 年度より市から民間に移管された収蔵施設です。同館に保管されている数百点の民芸品の数々は、自治体や国による保護対象とされない未指定の文化財です。本講座では、公立美術館における指定文化財と未指定文化財の位置付けの違いや扱われ方などを参照しながら、未指定文化財の活用方法について意見を交わします。

講座 2: 特別講演「美術館のつづれ方」(定員:40名)

日 時 | 令和 6 年 1 月 17 日(水) 10:30—12:00

場 所 | 富山大学高岡キャンパス E-150 演習室

(〒933-8588 富山県高岡市二上町 180 番地)

参加費 | 無料(特設サイトより要事前予約)

藤井氏が担当したこれまでの展覧会企画を紹介しながら、同氏の考えや独自のキュレーション手法について紐解きます。美術館の機能や制度そのものに対する同氏の自己批評的な眼差しから、公立美術館が直面している状況や課題等について抽出し、これからの美術館のあり方や持続可能性について考えます。

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学芸術文化学部「ハッカーズから学ぶ芸術経営学」事務局

TEL : 0766-25-9111 (9:00-17:00) Email : arthack@tad.u-toyama.ac.jp

富山大学 芸術文化学部 特別プログラム

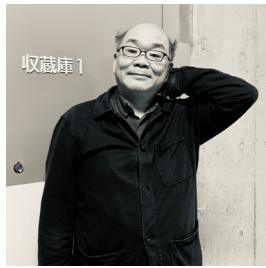
リンカーズから学ぶ 芸術経営学 II

Art Management Learning from Linkers

人・モノ・情報・場・歴史など、さまざまな要素を整理し繋ぎ合わせ翻訳することで、社会に新しい価値や見方を提示する「つなぎ手（Linker）」。
彼ら（リンカーズ）の実践から、これからのアートマネジメント（芸術経営学）のあり方を学びます。



「インボッシブル・アーキテクチャー」 展 会場風景、2019年



収蔵庫1

新潟市美術館学芸員
藤井 素彦
Motohiko Fujii

講座 1

座談会「未指定文化財の行方 II」

2024年1月16日(火) 14:00-15:30

場 所 | 富山大学高岡キャンパス E-150 演習室
〒933-8588 富山県高岡市二上町 180

参加費 | 無料 (定員 20名) *要事前予約

講座 2

特別講演「美術館のつぶれ方」

2024年1月17日(水) 10:30-12:00

場 所 | 富山大学高岡キャンパス E-150 演習室
〒933-8588 富山県高岡市二上町 180

参加費 | 無料 (定員 40名) *要事前予約

参加申込フォーム
<https://forms.gle/wXvwWLNx3hQbPhdy5>



「ハッカーズから学ぶ芸術経営学」特設サイト
<http://www3.u-toyama.ac.jp/arthack/>



富山大学 芸術文化学部 特別プログラム リンカーズから学ぶ 芸術経営学 II

Art Management Learning from Linkers

美術館の機能や制度そのものを問うような批評的かつユニークな展覧会を企画する公立美術館学芸員の藤井素彦氏。本プログラムでは、同氏の考えや独自のキュレーション手法を参照しながら、美術館をとりまく状況や課題を抽出し、これからのアートマネジメントのあり方について考えます。

講座 1

座談会「未指定文化財の行方 II」

2024年1月16日(火) 14:00-15:30

場 所 | 富山大学高岡キャンパス E-150 演習室
〒933-8588 富山県高岡市二上町180

参加費 | 無料(定員20名) *要事前予約

登壇者 | 藤井素彦

西島治樹(富山大学学術研究部芸術文化学系教授)

佐藤弘隆(富山大学学術研究部芸術文化学系助教)

芦田麻都佳(富山大学芸術文化学部非常勤講師)

富山県砺波市に位置する旧庄川民芸館は、令和5年度より市から民間に移管された収蔵施設です。同館に保管されている数百点の民芸品の数々は、自治体や国による保護対象とされない未指定の文化財です。本講座では、公立美術館における指定文化財と未指定文化財の位置付けの違いや扱われ方などを参照しながら、未指定文化財の活用方法について意見を交わします。



旧庄川民芸館



「ハッカーズから学ぶ芸術経営学 I」座談会「未指定文化財の行方 I」の様子

講座 2

特別講演「美術館のつづれ方」

2024年1月17日(水) 10:30-12:00

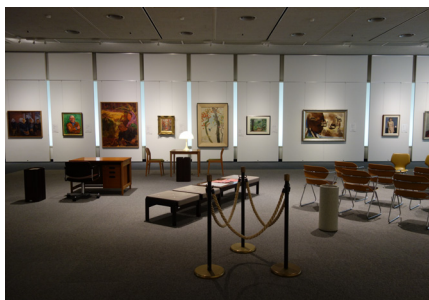
場 所 | 富山大学高岡キャンパス E-150 演習室
〒933-8588 富山県高岡市二上町180

参加費 | 無料(定員40名) *要事前予約

藤井氏が担当したこれまでの展覧会企画を紹介しながら、同氏の考えや独自のキュレーション手法について紐解きます。美術館の機能や制度そのものに対する同氏の自己批評的な眼差しから、公立美術館が直面している状況や課題等について抽出し、これからの美術館のあり方や持続可能性について考えます。



「インポッシブル・アーキテクチャー」展会場風景、2019年



「正・誤・表」展会場風景、2018年

参加方法

参加を希望される方は、右のフォームよりお申し込みください。

*各講座定員に達し次第受付を締め切ります。

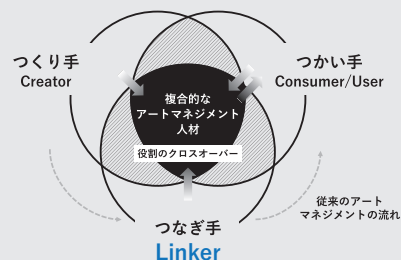
参加申込フォーム
<https://forms.gle/wXwWLLN3hQbPhd5>



新潟市美術館学芸員 藤井 素彦 Motohiko Fujii

1967年生まれ、新潟市美術館学芸員。日本近代美術史・工芸史。1994年以来、いくつかのミュージアムを転々。「何も展示しない・誰も見に来ない展覧会は可能か」というような、仕事の最低条件・極限状況について考えることが多い。現在の勤務先での主な担当展に、『金子孝信展』『川村清雄展』『正・誤・表展』『会場隆三郎展』等。共著に『美術史の余白に 工芸・アルス・現代美術』美学出版、『昭和期美術展覧会の研究 戦前篇』中央公論美術出版、『日本美術全集 第17巻』小学館、等。

事業概要



本プロジェクトは、富山大学芸術文化学部が主催するアートマネジメント人材育成プログラム「ハッカーズから学ぶ芸術経営学」の一環として実施するもので、文化芸術と社会を繋げる役割を担う『つなぎ手(Linker)』に焦点を当てています。既存の制度に問題意識を持ち、打破すべく実行している彼ら(=リンカーズ)の独自の実践と方法論を学び、これからのアートマネジメント(芸術経営学)のあり方について考えます。

アクセス



●電車、バスをご利用の方【新高岡駅より】城光寺運動公園行きバス、「富山高岡キャンパス」下車、徒歩1分 / 【高岡駅より】城光寺運動公園、または二上団地行きバス、「富山高岡キャンパス」下車、徒歩1分 ●自動車をご利用の方【能越自動車道】高岡北ICから約10分 ●駐車場 無料

お問い合わせ |
富山大学芸術文化学部「ハッカーズから学ぶ芸術経営学」事務局
〒933-8588 富山県高岡市二上町180
TEL: 0766-25-9111 (9:00-17:00)
MAIL: arthack@fad.u-toyama.ac.jp

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。